



< C 級公認審判員チェックリスト >

試合前、確認チェック	特に課題とする項目に○	終了後できた項目に○
------------	-------------	------------

◆大会への参加

- 審判会議、代表者会議に参加し、申し合わせ事項等の共通理解を図る
- 大会審判員としての自覚を持つこと。常に見られていることを忘れないこと

◆試合前

- 3)両レフェリー、TD が立ち合いのもとスケジュールを実施
- 3)メンバー表、登録証、(試合開始前の)公式記録用紙の確認
- 4)ユニホームの確認(濃淡・デザインがはっきりしたもの:チーム同士、レフェリーウェアとチーム)
- 4)チーム役員のウェアの確認(相手チームのコートプレーヤーと重複していないか)
- 5)ウォーミングアップは、選手と共にペアで行う
- 6)ゴールやゴールネット、ボールの点検(事前に)
- 7)オフィシャルとの連携(業務の確認、得点、罰則、時間の管理について)

◆試合開始前

- 8)メンバーチェックを登録証とともに使う
- 9)選手入場・挨拶の後、両チーム役員やオフィシャルと挨拶

◆試合中

得点の管理、時間の管理

- 10)得点の管理は出来ているか(得点のたびに確認しているか)
- 10)目視による公示時計の動作確認(どちらかが、試合開始時、タイムアウト時、再開時に)

走法と位置取り

- 11)基本的な立ち位置や動きを意識しているか
- 11)コートレフェリー時:判定の後に素早くポイントに移動しているか
- 11)ゴールレフェリーへの移動時:バックステップを用いることなく移動しているか
- 12)7m スローの際のコートレフェリー:スローの利き腕側・GK を観察できる位置にいるか

判定の手順、ゼスチャー

- 13)①笛 ②方向指示 ③(必要に応じ)ゼスチャー の判定の手順を守っているか
- 13)正しいゼスチャーを用いているか

立ち居振る舞い

- 14)ペアで同じ種類の笛を使用しているか
- 14)笛を口にくわえたまま、プレーを観察していないか

役割分担

- 15)ゴールエリアライン際の判定は、ゴールレフェリーが判定しているか
- 16)ピボットプレーヤーと防御プレーヤーの攻防を、ペアで連携し観察できているか
- 15)、16)について、通信機器を有効に活用できているか

競技規則の正しい理解

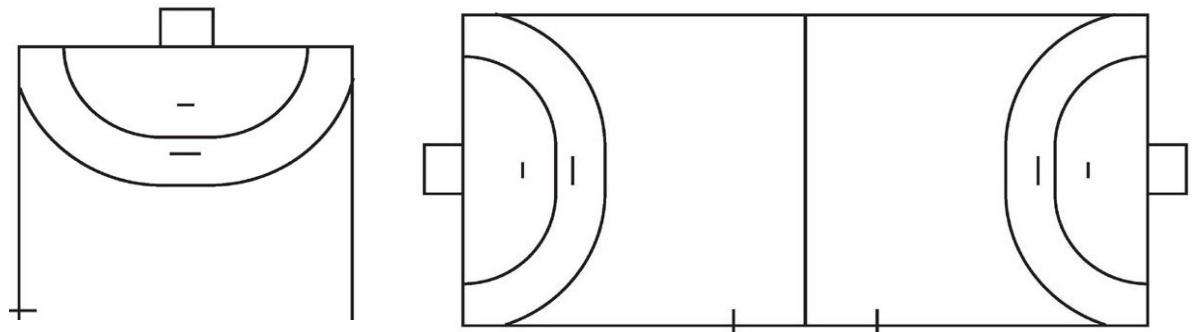
- 17)警告や退場を判定する際、その理由をボディランゲージを用いて大きく示しているか
- 18)差し違えた場合、必ず①タイムアウト ②ペアで協議 をしているか

◆試合終了後

- 19)両チーム役員やオフィシャルと挨拶
- 19)公式記録用紙に正しく記入されているか確認後、サイン
- 20)大会審判長や他のレフェリーへ助言を求める
- 20)審判手帳に担当試合を記載し、審判長に捺印をお願いする

時 間	状 態

コメント：反省点・次回への課題 など



所属		氏名	
----	--	----	--